

## ■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長  
白井 信文



### ■ 本市の観光事業

本市は、観光資源に大変恵まれています。

まず「竜王山」。春は1万本の桜が咲き乱れ、初夏には“ヒメボタル”が飛び交い、秋には旅する蝶“アサギマダラ”が飛来し、年間を通してオートキャンプも楽しめます。頂上からは九州の連山や関門海峡を望むことができ、「せとうち夢海道50景」や「日本の夜景100選」に選ばれています。眼下の「焼野海岸」もまた素晴らしく、地中海風のビーチから眺める夕陽は「日本の夕陽100選」に認定され、夕刻、穏やかな周防灘が刻一刻と茜色に染まるようすは見るものを感動させてくれます。トロン温泉の入浴施設やガラス体験ができる施設も隣接していて、ゆったりと一日を過ごせるリゾート地といえるでしょう。

また、5万本のつつじや四季折々の花、バードウォッチングが楽しめる「江汐公園」や6千株の花菖蒲が咲く「物見山総合公園」もあります。

この、あまりに豊かな観光資源を、市民のみなさんへの周知はもとより、もっともっと市外・県外にも発信したいところです。

寝太郎民話の里、厚狭毛利家墓所、和泉式部伝説、セメント・窯業に関わる産業遺産、浜五挺唐樋・勘場屋敷、有帆の磨崖仏などもあります。厚狭の「おひなさまめぐり」、年中楽しめる観光農園やワイナリー、6場もあるゴルフ場…、まだまだあります。

本市では、山陽小野田観光協会との連携強化に努める一方、近く市民の有志や観光関連団体からも本市の観光事業について助言をいただく「観光懇話会」の立ち上げを予定しています。本市は、売り込みがあまりに消極的なのではないのか、との反省に立ち、受け身から攻撃への転換のきっかけをつかみたい、そうした思いに駆られたためです。公募委員も募集します。観光事業について、みなさんのご意見もお聞かせください。

### ■ 職場レポート

この5月から、課長級職員全員を対象に、毎月、職場レポートを提出してもらうことにしました。既にたくさんのレポートが届き、夜、職場から持ち帰った仕事が一段落した折などに、興味深く読ませてもらっています。事務分掌の説明に終始したものもあれば、職場改革の実践に取り組んでいる報告もあります。一番多いのは、何とんでも人員の補充や、事業案採用の要望です。なかには悲痛な訴えや、心動かされるものもあります。財政指標が健全化したとはいえ、まだまだ油断のできない状態で、行政の事業があまりにも多いため限られた財源のもと、担当職員の意欲は尊重しつつも、優先順位・費用対効果も考えなくてはなりません。市民のみなさんにも、もうしばらくの辛抱をお願いせざるを得ないのが実情です。どうか、もうしばらく待ってください。